# プログラミング基礎 | 第5回配列発展・応用

九州產業大学 理工学部

pk@is.kyusan-u.ac.jp

#### 内容

- •参照型配列を扱う上での注意
  - shallow copy(シャローコピー)、Deep copy(ディープコピー)

- ・指定文字列で文字列を分割
  - \*String.splitメソッド

- ・文字列を文字配列に変換
  - \*String.toCharArrayメソッド

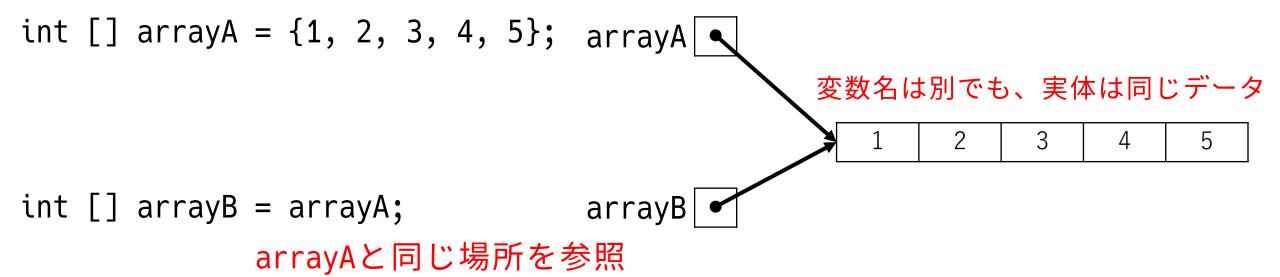
#### 参照型変数を扱う場合の注意

```
int [] arrayA = \{1, 2, 3, 4, 5\};
int [] arrayB = arrayA; // arrayAにarrayBをコピー
System.out.print("arrayAを出力:");
for(int i: arrayA) {
         System.out.print(i);
System.out.println();
System.out.print("arrayBを出力 : ");
for(int i: arrayB) {
         System.out.print(i);
System.out.println();
arrayA[0] = 9999; // arrayAの要素を変更(ArrayBは変更していない)
System.out.print("arrayAを出力 : ");
for(int i: arrayA) {
         System.out.print(i);
System.out.println();
System.out.print("arrayBを出力 : ");
for(int i: arrayB) {
         System.out.print(i);
System.out.println();
```

arrayAを出力:12345 arrayBを出力:12345

arrayAを出力:99992345 arrayBを出力:99992345

arrayBを変更した覚えがないのに、arrayBも変わってしまった・・・



配列などの参照型の変数を = で代入すると、 データの実体があるアドレスへの参照が代入される

同じところを指しているので、 どちらかを変更するともう一方も変更されてしまう

#### **シャローコピー**(浅いコピー)

参照している先のコピー(実体は同じ)、見せかけの複製を作る

```
int [] arrayA = \{1, 2, 3, 4, 5\};
int [] arrayA = arrayB;
             arrayAと同じ場所を参照
        arrayA
        arrayB
```

#### 回避方法

配列の各要素は原始型(int型)

ディープコピー(深いコピー) データの参照だけでなく、データの実体までのコピー 中身も完全に複製するコピー

#### 参照型のデータコピー

- •配列やクラス型のオブジェクトの複製を作る際の注意
  - 単に代入するだけだと、データの参照先が複製される
    - ・シャローコピー(浅いコピー)
  - 同じ場所を参照しているので、変更すると元のオブジェクトも変更される

- 別々のデータとして複製したい場合は、新たなオブジェクトを生成して、原始型のデータをコピーする
  - ・ディープコピー(深いコピー)

#### 指定文字列で文字列を分割

- \*String.splitメソッド
  - ・特定の文字列で区切られた文字列を、部分文字列に分割し、 String型の配列として返すメソッド

\*String text = "a,b,c,d,e,f,g";
String [] splitText = text.split(",");
// textを , 区切りで分割して String型配列のsplitTextに代入

splitText

0	1	2	3	4	5	6
а	b	С	d	е	f	g

# 文字列を分割(String.splitメソッド)

- カンマ区切りで入力されるデータを処理する例
  - 1,2,3,4 の文字列を、1234

```
String str4 = "1,2,3,4";
String [] spStr3 = str4.split(","); //str4をカンマで分割して配列に
for(String s : spStr3) {
    System.out.print(s + " ");
}
```

・csvファイルなど、カンマ区切りで入力されるデータを処理する時などによく利用する

#### 分割した文字列を整数配列に変換

•同じサイズの整数型の配列を用意、 文字列を整数値に変換すると、整数型配列として扱える

```
String str4 = "1,2,3,4";
String [] spStr3 = str4.split(",");
int [] intStr3 = new int[spStr3.length];
for(int i = 0; i < spStr3.length; i++) {
    intStr3[i] = Integer.parseInt(spStr3[i]);
}</pre>
```

•文字列が整数値に変換出来る場合に限る

#### char型

- ・char型:単一の文字を格納出来る変数型
  - 1バイトの文字列を表現できる
  - •文字は、シングルクォート( ' )で囲む
  - ・Unicode文字を表現できる

```
char c1 = 'A'; //英数字
char c2 = 65; // char型に整数値を代入
System.out.println(c1); // A
System.out.println(c2); // A
```

- •65 を代入して A と表示される
  - •'A' は ASCIIコード表で 0x41 つまり、10進数で65

### char型の便利な使い方(例)

•A ~ Z を出力する

```
char c1 = 'A'; //英数字
for(int i = 0; i < 26; i++) {
    System.out.print(c1 + "," );
    c1 += 1;
}
```

\*ASCIIコードの並びを利用すると、 アルファベットを繰り返し1回で出力出来る

# String型をchar型配列に変換

- \*String型(文字列)をchar型の配列に変換する
  - \*String.toCharArrayメソッドでchar型配列に変換

```
String str5 = "convert Test";
char [] cArray = str5.toCharArray();
```

С	0	n	V	е	r	t	Т	е	S	t

char型配列に変換することで、 文字列の処理を配列の処理としても行うことが出来るようになる